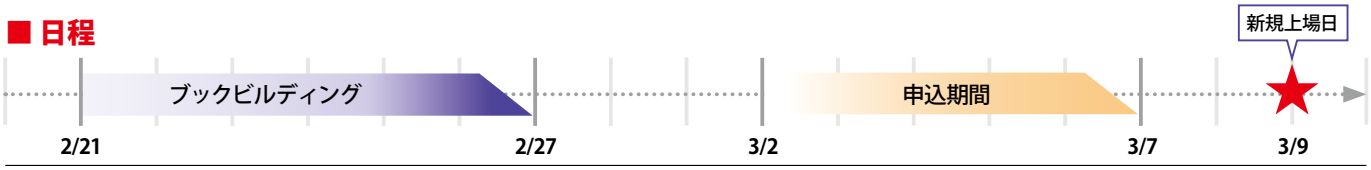
IPO銘柄　ピーバンドットコム（3559・マザーズ）

コード	投資単位	公開株式数	仮条件（上限 PER）	主幹事証券
3559	100 株	公募：15.00 万株 売出：65.00 万株（OA6.00 万株）	1,530 円～ 1,650 円 （24.8 倍）	ＳＢＩ証券

■ 日程



独自工法による廉価なプリント基板をネットを通じて供給

■ 事業内容

プリント基板のＥコマース（電子商取引）サイト「Ｐ板.com（ピーバンドットコム）」運営を手掛ける。「Ｐ板.com」では、プリント基板の設計、製造、実装の見積もり、注文という一連の流れがインターネットだけで利用できる。ファブレス（工場を持たない）メーカーで、４カ国10社の複数の工場と提携し、安定的に供給。回路、基板設計に特化した技術情報サイト「@ele（アットマーク・エレ）」も運営する。IoT（モノのインターネット）の拡大でプリント基板の利用が広がっているものの、現段階でプリント基板に特化した情報サイトは「@ele」のみという。プリント基板Ｅコマース事業の単一業態。

■ 特徴

小ロット、短納期など、きめ細かなニーズにも対応しており、顧客は国内大手企業から中小製造業、学校、研究機関、個人事業主まで幅広い。累計取引社数は現在１万8,000社を超え、リピーター率は50％以上という。従来のプリント基盤製造には初期費用が必ず発生するが、「Ｐ板.com」では独自の異種面付工法でコストを大幅に削減し、廉価で商品を提供している点が強み。

アナリストコメント

■ 定量分析

17年３月期の非連結経常利益は、前期比2.1倍の２億1,200万円を予想する。仕入れ原価低減による粗利益率改善と、販売管理費削減の効果で利益率が大幅に改善。検索エンジン最適化の効果など、新規会員数増への取り組みにも力を入れている。

■ 定性分析

田坂社長は東証１部上場の現ミスミグループ本社＜9962＞出身。業界は細分化が進み、小ロット、短納期といったニッチ分野に特化したビジネスは成長余地が大きく、新興市場らしさも強い。MonotaROなど、類似企業には市場で高く評価される企業が挙げられている。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約14億円。軽量級とは言えない規模だが、株主にベンチャーキャピタルは存在せず、需給面への不安はそれほど大きくない。３月期末に向けてIPOが増加するが、その前の上場である点もポジティブ。（小泉健太）

■ 類似企業

ピーバンドットコム（3559・マザーズ）	予想PER24.8倍 （仮条件上限）
ミスミグループ本社（9962・東証１部）	予想PER31.8倍
ＭｏｎｏｔａＲＯ（3064・東証１部）	予想PER50.6倍

■ 引受証券

SBI 証券、SMBC 日興証券、松井証券、藍澤證券、岩井コスモ証券、エース証券、極東証券、東洋証券、マネックス証券

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしましたが、その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.Inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

業績・財務指標

	売上高（百万円）	前年比（%）	経常利益（百万円）	前年比（%）	純利益（百万円）	前年比（%）	EPS（円）	1株あたり年間配当金(円)
15年3月期(実績)	1,684	11.1	70	▲ 16.5	48	▲ 4.4	23.9	0.0
16年3月期(実績)	1,717	1.9	67	▲3.7	61	26.1	30.2	0.0
17年3月期(会社予想)	1,817	5.8	212	3.1倍	136	2.2倍	66.7	0.0

※ 16 年 8 月（1 株→ 5 株）および 16 年 11 月（1 株→ 600 株）に株式分割を実施。15 年 3 月期、16 年 3 月期の EPS は遡及修正

	発行済み株式総数(株)	総資産（百万円）	純資産（百万円）	資本金（百万円）	BPS（円）	自己資本比率（%）	自己資本当期純利益率(%)
15年3月期	680	502	126	34	62.1	25.2	39.3
16年3月期	680	472	188	34	92.3	39.9	39.1

※ 15 年 3 月期、および 16 年 3 月期の BPS は遡及修正

大株主上位（上場前）

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	田中　一宏	1,023,000	43.72
2	インフロー	777,000	33.21
3	田坂　正樹	480,000	20.51
4	後藤　康進	19,800	0.85
5	上田　直也	4,800	0.21
6	宮坂　俊明	4,200	0.18
6	松森　一幸	4,200	0.18
6	皆川　佳隆	4,200	0.18
6	箕浦　道雄	4,200	0.18
10	照井　静佳	3,600	0.15

経営陣

役職	氏名
代表取締役	田坂　正樹
取締役 COO マーケティング・営業部長	後藤　康進
取締役 CFO 管理部長	上田　直也
常勤監査役	山﨑　禮次郎
監査役	擽木　一男
監査役	鶴　英将

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしましたが、その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.Inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

モーニングスターIPOレポートの読み方

特　徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1　IPO（Initial Public Offering）：新規株式公開。

※2　ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしましたが、その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.Inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。